

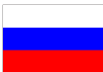
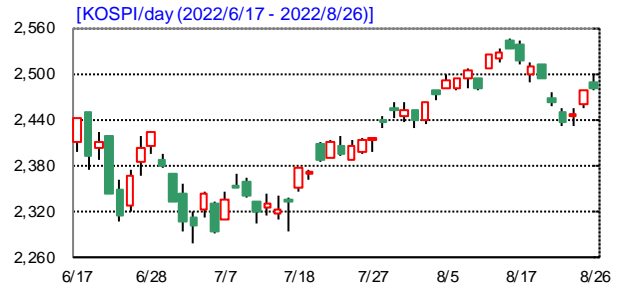


## 【韓国】 総合指数は週間で0.5%安と続落、今週は2500ポイントを試す展開か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.5%安と続落。週前半は売り優勢で、前週の17日から23日まで5営業日続落となり、約1カ月ぶりの安値を更新した。米長期金利の上昇や米金融引き締め懸念、韓国からの資金流出への警戒感からリスクを回避する動きが広がった。主力のハイテク株が相場の下げを主導。一方、週央以降は週末まで3連騰。24日は値ごろ感を意識した買いが入った。韓国中銀が会合で政策金利を0.25%引き上げると決定した25日は1.2%高。利上げが市場の想定通りの内容と受け止められ、安心感が広がった。26日は上値が重い場面もあったが、小幅高で引けている。今週は2500ポイントを試す展開か。韓国国内では7月の鉱工業生産、小売売上高、4-6月期のGDP成長率改定値、8月の製造業PMI、CPIなどが発表される予定。

▼指数チャート

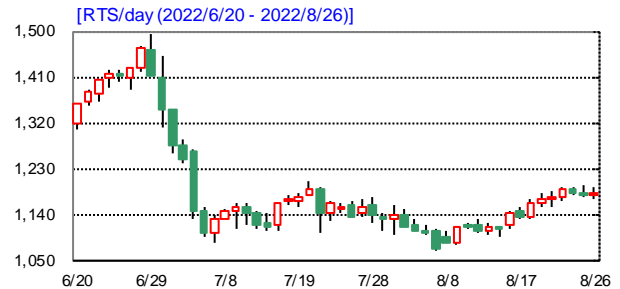


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で1.1%高と3週続伸、今週は引き続き堅調か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は1.1%高と3週続伸。ルーブル安が重しとなったものの、原油高を好感したエネルギー株の上昇が相場を押し上げた。前週末までに続伸したRTS指数は、週明け22日に前週末比0.3%高となり、23日も1.4%高と続伸。終値で7月4日以来の水準を回復した。海外株安が重しとなったものの、原油高を背景にエネルギー関連銘柄が上昇し、指数を押し上げた。24日は0.7%安と5営業日ぶりに反落したが、週後半はほぼ横ばいで推移した。ブレント原油は週間で4.4%高と大幅反発し、ルーブルは対ドルで1.4%下落した。個別銘柄では、エネルギーのノバテックが6.6%、ロスネフチが4.8%、タトネフチが4.4%、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが4.2%、産金のポリュスが3.9%上昇した。今週は引き続き堅調か。

▼指数チャート

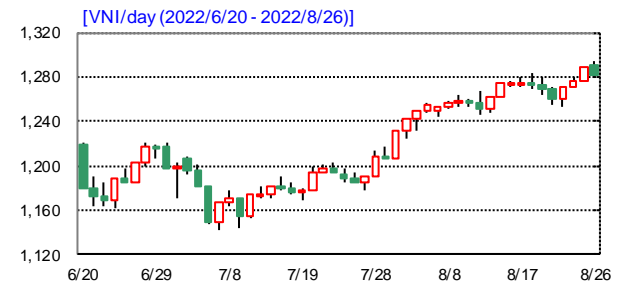


## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で1.1%高と7週続伸、今週も堅調な展開か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.1%高と7週続伸。海外投資家の買い越しも追い風に、6月10日以来の戻り高値を更新した。週明け22日は利益確定売りが強まり、前週末比0.7%安となったが、先高観を背景に23日に0.8%高と4営業日ぶりに反発すると、海外投資家の買い越しも追い風に25日まで3日続伸した。26日は0.5%安と4日ぶりに反落したが、一時1295.12ポイントをつけ、6月10日以来の水準を回復した。個別銘柄ではPC・携帯電話販売のモバイル・ワールド・インベストメントが12.6%高と急伸し、ゴム製品のベトナム・ラバーが5.0%高、公益のペトロベトナム電力総公社が4.8%高と上昇した。一方、不動産のビンググループが4.3%安、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が3.6%安となった。今週は引き続き堅調な展開か。

▼指数チャート



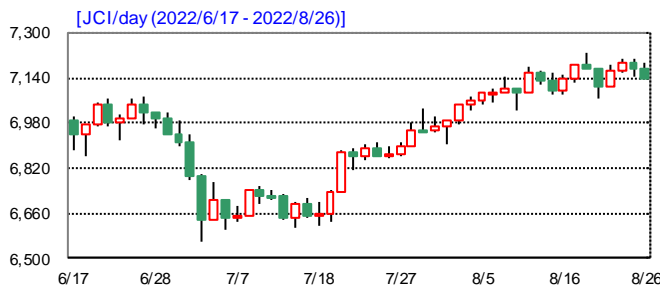


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】**ジャカルタ総合指数は 0.5%安、中央銀行が 3 年 9 カ月ぶりの政策金利引き上げを決定

ジャカルタ総合指数は週間で 0.5%安と 6 週ぶりに反落。週後半の下落が響いた。週初の 22 日は、前週末の NY ダウが反落した流れを引き継ぎ続落。一方、23 日に反発すると、24 日は中央銀行が前日の金融政策決定会合で、市場の予想に反して政策金利を 18 年 11 年以來、3 年 9 カ月ぶりに引き上げ、3.75%に設定した効果で金融株の一角が買われて続伸した。ただ、週後半は 25 日に反落すると、26 日は引け際に売られ、続落して引けている。今週は 1 日に 8 月の CPI が発表される予定。パウエル FRB 議長がジャクソンホール会議の講演でインフレ抑制策の継続を表明したことに対する市場の反応も注目される。

### ▼指数チャート

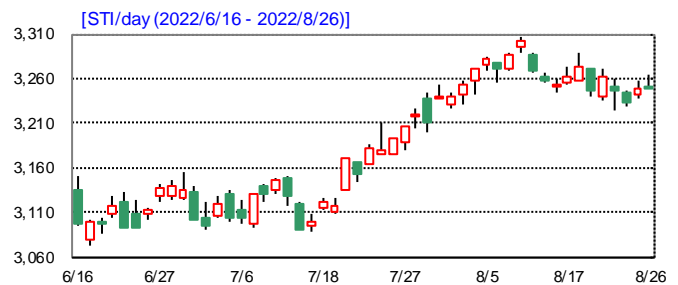


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】**スレーツタイムズ指数は 0.1%高、7 月の CPI 上昇率は約 14 年ぶりの高水準

スレーツタイムズ指数は週間で 0.1%高と 3 週ぶりに小幅反発。米経済シンポジウムのジャクソンホール会議を週末に控えた様子見で、狭いレンジでの取引となった。週初の 22 日は反発したが、23 日は 7 月の CPI 上昇率が前年同月比 7.0%と 08 年 6 月以來の高い伸びを示したことが売り材料視されて反落。24 日は下げ止まらず続落した一方、25 日は前日の NY ダウが 4 日ぶりに反発した流れを引き継ぎ買い戻された。26 日は 7 月の鉱工業生産が前年同月比 0.6%増と市場予想を大幅に下回ったものの影響は小さく、小幅続伸して引けている。今週は 2 日の取引終了後に 8 月の製造業 PMI が発表される予定。

### ▼指数チャート

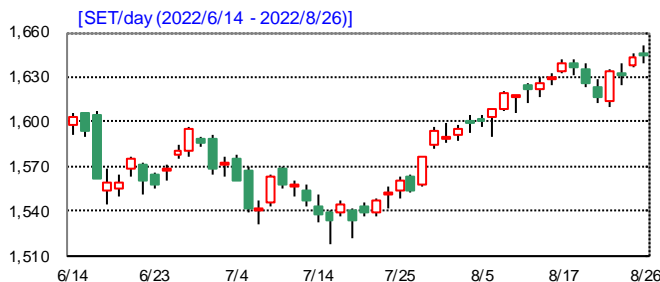


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】**SET 指数は 1.2%高、原油価格上昇でエネルギー株に買い

SET 指数は週間で 1.2%高と 6 週続伸。週後半の反発が奏功した。週初の 22 日は週末に米ジャクソンホール会議を控えた利益確定売りで 3 営業日続落。一方、23 日は欧州での燃料不足に対する警戒感などを受けて原油価格が上昇し、関連銘柄が買われ前日比 1.1%高と反発した。24 日はプラユット首相の任期問題を巡り憲法裁判所が首相職務の一時停止を命じ、政局の混乱が懸念されたものの影響は軽微で、指数は小幅な反落にとどまった。週後半は 25 日にサイアム商業銀行とタイ空港公社を含む大型株の一角が買われて反発すると、26 日は続伸して引けている。今週は 31 日に 7 月の鉱工業生産が発表される予定。

### ▼指数チャート

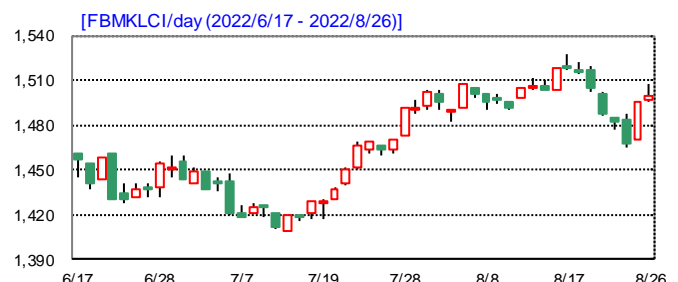


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】**クアラルンプール総合指数は 0.3%安、今週は 1500 ポイント台維持に期待

クアラルンプール総合指数は週間で 0.3%安と続落。週後半の買い戻しが下落幅を縮めた。週初の 22 日は前週からの利益確定売りが続き、指数は終値で 8 営業日ぶりに節目の 1500 ポイントを割り込み 4 日続落。23 日は終始 1400 ポイント台で推移すると、24 日は世界経済の後退懸念の広がり、前日比 1.0%安と終値で約 1 カ月ぶりの安値を更新した。ただ、25 日は引け際の買いが奏功し 7 日ぶりに反発すると、26 日は前日の NY ダウが米長期金利の低下を受けて上昇した流れを引き継ぎ、終値で 1500 ポイント台を回復して引けている。今週は 29 日発表の 7 月の CPI が焦点。31 日は独立記念日のため休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。